ＳＤＧｓ
未来づくり部門

（菊池市立図書館）

（誰一人取り残さない多文化共生を目指して）

【取組み内容】

１．日本語支援（日本語教室、日本語カフェ、行政機関・市民向け「やさしい日本語」研修会の開催など）

２．多言語支援（外国人による英語のお話会・多言語書籍の提供・多言語ボランティアの登録など）

３．多文化共生活動（交流促進事業としてJICA熊本と連携「キクロス世界会議」の発足、外国人コミュニティーの形成など）

４．情報発信活動（やさしい日本語ニュースFacebook、YouTube童画の協働制作及び発信など）

評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント	
普遍性	多種多様な国籍の在住外国人にとってのコミュニケーションツールとして「やさしい日本語」を活用・普及に努め、国境のない住みやすいまちを目指す。
包摂性	すべての人々が情報や知識に公平にアクセスできる場を作り出す。
協働性	行政・教育機関・国際交流協会やボランティアの養成を行いながら、市民協働で支援体制の取り組みを進める。
統合性	多文化共生を進めていくことにより、企業・行政・市民が共同で3分野における課題解決のための仕組みを作っていく。
透明性	とりくみの内容については常に情報発信及び対話を可能とする場づくりに努め、多文化理解と共生の実現に努めている。

貢献するＳＤＧｓのゴール